

研究名：発達性ディスレクシア患者における読解力評価に関する研究

1．研究の目的

発達性ディスレクシア（以下、ディスレクシア）は限局性学習症（学習障害）の一つであり、知的能力が低くないにもかかわらず、デコーディング（仮名文字や単語を音に変換すること）が困難であるために、学童期早期から学習困難をきたします。ディスレクシアは読みの際に多大な疲労や負担を抱えており、読んで理解すること（読解）に困難を生じます。

こころの診療科ではディスレクシア児の診療を行っており、アプリケーションソフトを用いた音読指導により読みの正確性や流暢性が改善するなどの効果を認めています。このように臨床的に読字が改善した症例において、さらなる効果判定のために文章読解力の評価を行っています。

本研究では、ディスレクシア患者の年齢、性別、併存症、知能検査、読解力検査等の結果、当科での治療経過、指導年数などを診療録から調べ、デコーディングスキルが向上した後にも、読解力が改善する例とそうでない例とを後方視的に検討します。

2．研究の方法

研究対象：当院こころの診療科で2020年8月から2023年3月末までに、ディスレクシアと診断された6歳から15歳の患者様で、音読指導等により臨床的に読字困難が軽減し、かつ、2023年3月末までに包括的領域別読み能力検査（CARD：奥村ら，ウィードプランニング，2014）を受けた患者様。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年5月31日

研究方法：CARDの結果と、これまでに得られた既存のデータを診療録から確認して後方視的に分析します。

3．研究に用いる情報の種類

患者様の年齢や性別、診断、通常診療で行っている読字検査（稲垣ら，特異的発達障害診断・治療のための実践ガイドライン，2010）や知能検査（WISC-IV）の結果、CARDの結果、併存症など個々の発達特性プロフィールなどの情報を用います。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報には保守されます。

4．情報の公表

研究結果については、学会発表や論文などの学術的な場での公表を予定しています。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、研究計画書を閲覧することも出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療科 岡 牧郎 黒神 経彦

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7902(岡) 7197(黒神)）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療科 岡 牧郎